

渡米をしてから早2カ月が経ち、暑いと言って半袖を着ていた日々から今では0度を彷徨う毎日でダウンジャケットが手放せなくなっていました。つい先日、こちらでは初雪もみられ冬の訪れを感じます。

私はアメリカで10月を過ごして、文化に対する人々の価値観の違いを体感しました。アメリカの高校や大学では、秋学期にホームカミングという大きな行事が行われます。地域や学校によって、ホームカミングがどのように開かれるか違いがありますが、私の学校では「ホームカミングウィーク」と呼ばれる行事習慣がありました。月曜日は学年で決まったカラーの服を着て、火曜日には「twin day」と言って2人組を作っておそろいの服を着ます。水曜日はドレスを着て、木曜日にはパジャマのまま登校します。授業自体に特に変化はなくいつも通りなのですが、同じ授業でもいつもより楽しく感じましたし、生徒同士の交流も増えてとても充実した一週間を過ごすことができました。全く知らない生徒から「今日の服似合っているね!」と言われることも普通で、フレンドリーさに驚かされました。月末のハロウィンでは仮装で登校している人たちもいました。生徒だけかと思いきや先生もみんな総出で、むしろ大人のほうが楽しんでいるのではないかと思えるほど学校が行事に対して好意的でした。その日は午前授業で、子供たちは街に繰り出しお菓子をもらいに家を巡りました。日本でもよく知られる「トリックオアトリート」です。ホストファミリーもみんな袋いっぱいにお菓子を詰めて帰ってきて、幸せな顔を浮かべていました。たくさんの行事を満喫した1ヶ月でした。

少しずつ自分の過ごす環境に慣れ始め、良くも悪くも要領を把握して行動することが可能になってきました。想像していたよりも英語力の変化は表れにくく、地道に得た語彙力で何とか自分と闘っています。来月もさらに楽しい日々を過ごせるように、もっと自分から行動できるように心がけたいです。

白鷗高校12期生 次世代リーダー7期生 Y・M